黒島小・中学校のあり方検討委員会だより No.3

平成２９年２月吉日

黒島町民の皆様へ

黒島小・中学校のあり方検討委員会
会　　長　　大　村　　靖

現在、国内には２２校の義務教育学校があります。その中の３校を黒島小中学校の先生方や、育友会会員（保護者）で視察を行いました。

その視察結果をお知らせすることで、現在の義務教育学校のよさや課題などを確認できればと考え、本号では高知市の２校を御紹介します。

1　高知市立行川学園・高知市立土佐山学舎

（１）視察期日　　平成２８年９月２８日

（２）視 察 者　　木下和弥教頭先生
　　戸田朋彦先生

（３）視察結果

①高知市立行川学園



行川学園中学複式授業の様子



学年表示

○高知市中心部から車で約３０分。町民約400 名の自然豊かな町。

○昭和 61 年度から施設一体型小中一貫校。平成 13 年度から特認校となり、区校外から児童生徒の受け入れを実施。

○スクールバスはなく、徒歩か公共のバスか保護者の自家用車で登下校。

○教室は狭く学年定員は 10 名。

○学年の呼び方は１年生・２年生…９年生と呼ぶ。対外的には問題はなく、すぐに慣れた。

○児童生徒数は、1･2年6名、3･4 年２名、5･6 年４名、７年7名、８年４名、９年8名、特別支援学級小２名・中２名、計３５名。

○３５名中、１６名は校区外から。校長が保護者と面談後入学を許可している。

裏を御覧ください

〇保護者・地域とも非常に協力的。地域外から来る児童生徒に対しても我が地域の子どもであるという考え。
〇小学校児童の中学部活動参加無し。
〇学校名は児童生徒・保護者・地域・教職員から公募。４つに絞り、市教育委員会へ委託し、市教育委員会が校名を決定。
〇課題は小学校の卒業式がなく、卒業証書がないこと。（修了証書授与式を代わりに実施。修了証書を卒業証書の代わりに授与。）


土佐山学舎の体育館


土佐山学舎の普通教室

②高知市立土佐山学舎（とさやまがくしゃ）
〇高知市中心部から車で約３０分。町民約 1000 名の自然豊かな町。教育熱心な地域。
〇平成 27 年度から新校舎で施設一体型小中一貫教育を実施。
〇ｽｸｰﾙﾊﾞｽが朝１本、夕方２本ある。
〇他の学校にはない全教室に冷暖房・電子黒板を完備。体育館はバドミントン３面。グラウンドは黒島小学校とほぼ同じ広さ。
〇児童生徒数は１年 14 名、2年 20 名、３年 11 名、４年 12 名、５年 16 名、６年６名、７年 18 名、８年 19 名、9年 13 名、計 129 名。
〇特認校制度をとっており、129 名中 71 名が校区外から通学。校長が保護者と面談後入学を許可。英語教育や ICT 教育に力を入れている。
〇新しい愛唱歌を校歌にする予定だったが、小・中学校の校歌を残した。

※どちらの学校からも、多くのことを学ぶことができました。
※次回は、佐賀県の義務教育学校「大町ひじり学園」の紹介をします。
※黒島小学校のホームページにもこのお便りも掲載しています。
※義務教育学校について御不明な点は黒島小学校まで御遠慮なくお問い合わせ下さい。（電話：５６－２００５【担当：木下教頭】）

